



戦後日本史と憲法事始め

～判例で読む日本史～

講師：山本 英嗣 東京外国語大学・国際短期大学講師

昨年、「解釈改憲」という用語が紙面を賑わせました。しかし、意味も内容も良く分からなかったというからも多いのではないのでしょうか。参議院選が終わり、いよいよ憲法改正へという機運が高まりつつあります。本講座では、戦後の時代背景を解説し、重要判例（裁判所が出した結論）を読みながら、戦後日本の歩んだ道と憲法が私たちの生活に与えた影響について受講生の皆さんと考えてみたいと思います。本講座では、映像資料も出来るだけふんだんに使っていきたいと思います。また受講生の皆さんからのご質問と、それに基づいたディズカッションを行っていきます。毎回、プリント教材等を配布します。

日程・テーマ

第1回 10月4日（火曜日） 13:00～14:30

テーマ：『戦前』と『戦後』（キーワード：『とと姉ちゃん』, 「佐藤達夫」, 「幣原喜重郎」, 「吉田茂」）

明治時代が始まって今日までの間に、日本は2つの憲法を持っていました。いわゆる「明治憲法」と「日本国憲法」ですが、両憲法の誕生までの秘話と苦難について比較・考察してみようと思います。

第2回 10月18日（火曜日） 13:00～14:30

テーマ：「日本国憲法誕生」（キーワード：「国民主権」, 「基本的人権の尊重」, 「平和主義」）

日本国憲法が誕生して、既に70年が経とうとしています。この回では、日本国憲法の誕生の苦難とその秘話について、様々な資料を基にみていきましょう。

第3回 10月25日（火曜日） 13:00～14:30

テーマ：「沖縄返還」（キーワード：「西山事件」, 「佐藤栄作」）

戦後沖縄の歴史は身近で、しかし遠い歴史とも言えます。「西山事件（外務省秘密漏えい事件）」を中心に、沖縄の歴史を振り返ってみましょう。

第4回 11月1日（火曜日） 13:00～14:30

テーマ：「八幡製鉄事件」（キーワード：「政治献金」, 「55年体制」, 「金権政治」）

日本では、「政治献金は是か非か」と何度も議論されてきました。その始まりともいえる「八幡製鉄事件」ですが、未だに結論は出ていないようです。政治と金をめぐる日本の政治体制について振り返ってみましょう。

第5回 11月15日（火曜日） 13:00～14:30

テーマ：「朝日訴訟」（キーワード：「生活保護」, 「生存権」, 「人間裁判」）

「現行憲法の「生存権」は日本が加えた条文である」ということは、あまり知られていません。「人間裁判」とも呼ばれる「朝日訴訟」を中心に、生存権の今日までの議論をみていきましょう。

第6回 11月29日（火曜日） 13:00～14:30

テーマ：「三菱樹脂事件」（キーワード：「高度経済成長」, 「労使交渉」, 「池田勇人」）

1955年から73年までの間、日本は空前の経済成長を遂げました。しかし、経済成長の裏に、様々な問題も発生しました。この事件の顛末は、あまり知られていませんが、団塊世代が誕生した時代とその背景について考えていきましょう。

第7回 12月13日（火曜日） 13:00～14:30

テーマ：「砂川事件」（キーワード：「田中耕太郎」, 「平和主義」, 「岸信介」, 「IKEA」, 「解釈改憲」）

2011年、ある重大な文書が米国公文書館で見つかり、日本でも議論を呼びました。砂川事件の及ぼした影響と砂川闘争の歴史を紐解いていきましょう。

第8回 1月10日（火曜日） 13:00～14:30

テーマ：「憲法改正」（キーワード：「立憲主義」）

最終回は、「憲法改正」を特集します。「新しい人権」と呼ばれる様々な権利について、皆さんと議論しながら、実際に憲法草案の一部を創っていきましょう。

日程：上記参照・時間：上記参照
 受講料：8,000円 1回/ 1,000円
 後期より受講料は一括納入をお願いします（要相談）
 定員：30名

*** 申し込み・お問い合わせ ***

城西国際大学 生涯教育センター（D棟）

TEL：0475-55-7685

FAX：0475-53-2244

☎受付時間：9時30分～16時30分（日曜・祭日除く）

